

## 浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(2020年度実績)

### 1 調査方法

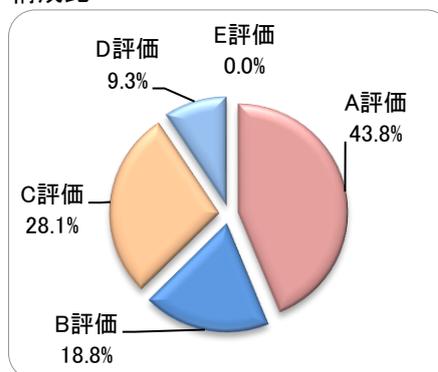
32項目の目標に対する2020度末の現状値から2020年度の進捗状況を評価した。

### 2 調査結果

#### (1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



#### (2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況					
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	
<b>1 生活機能の強化に係る取組</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	
A 医療	1	0	0	1	0	0	
B 福祉	6	(3→) 4	(2→) 1	1	0	0	
C 教育	2	1	(1→) 0	(0→) 1	0	0	
D 産業振興	4	0	(0→) 1	(4→) 2	(0→) 1	0	
<b>2 結びつきやネットワークの強化に係る取組</b>	<b>16</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	
A 地域公共交通	3	1	0	2	0	0	
B デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0	
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	2	0	1	0	
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	0	(1→) 0	(0→) 1	0	0	
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	(3→) 4	(1→) 0	(2→) 1	(0→) 1	0	
<b>3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	(1→) 2	(1→) 0	0	0	
<b>合 計</b>	<b>32</b>	<b>(12→) 14</b>	<b>(8→) 6</b>	<b>(11→) 9</b>	<b>(1→) 3</b>	<b>0</b>	
		(100.0%)	(43.8%)	(18.8%)	(28.1%)	(9.3%)	(0.0%)

## 連携する具体的事項

### 1 生活機能の強化に係る取組 13項目

#### A 医療

##### エ ヘき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	3人	4人	2人	-100.0%	C	健康医療対策課
※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3人	3人	2人	2人	2人	—
	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	—
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	—
【進捗状況】 地域医療・総合診療へ関心を持った医師の育成及び医学生の実習受入に力を注いだ。浜田医療センター総合診療科と国保診療所の医師確保に繋がらなかった。						
【今後の取組】 目標達成に向け、関係機関と協力し、医師や医学生の研修や実習受け入れを行うとともに、関係する医師に対し引き続きアプローチをする。十数年先を見据え、小中高校の地域医療教育や医療体験実習の充実に努める。						

#### B 福祉

##### ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 認可保育所定員数の増加	1,895人	1,955人				
※認可保育所の定員数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	—
	-33.3%	141.7%	66.7%	66.7%	-83.3%	—
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	—	—	—
2019年度以降、目標値を2,000人に上方修正	1,895人	2,000人	1,845人	-47.6%	B	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	—
	—	—	—	38.1%	-47.6%	—
	—	—	—	<b>B</b>	<b>B</b>	—
【進捗状況】 児童数が減少傾向にある中、保育所利用児童の率は増加傾向にあるため、保護者のニーズを踏まえた定員設定を行った。						
【今後の取組】 引き続き、保護者のニーズを踏まえた適切な定員設定に努める。						
② 放課後児童クラブ定員数の増加	790人	850人				
※放課後児童クラブの定員数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	905人	—
	0.0%	58.3%	141.7%	141.7%	191.7%	—
	<b>B</b>	<b>B</b>	—	—	—	—
2018年度以降、目標値を875人に上方修正	790人	875人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	905人	—
	—	—	100.0%	100.0%	135.3%	—
	—	—	<b>A</b>	—	—	—
2019年度以降、目標値を905人に上方修正 <目標達成>	790人	905人	905人	100.0%	A	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	790人	825人	875人	875人	905人	—
	—	—	—	73.9%	100.0%	—
	—	—	—	<b>B</b>	<b>A</b>	—
【進捗状況】 手狭となっている1か所の児童クラブについて、2020年10月に移転を行い、定員増となった。						
【今後の取組】 遊休施設の活用等を検討し、更なる定員の増加に努める。						

③ 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	—
	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	200.0%	—
	A	A	A	—	—	—
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 <目標達成>	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	子育て支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	—
	—	—	—	100.0%	100.0%	—
	—	—	—	A	A	—
【進捗状況】 老朽化した子育て支援センター「すくすく」の整備については、子育て世代包括支援センター基本構想を策定し、今後の整備の方向性を決定した。地域の子育て支援拠点施設については、2019年度に旭自治区において、4施設目の子育て支援センター「あさひなないるクラブ」が開所となった。						
【今後の取組】 当市の子育て支援センターの中核施設と位置付ける子育て世代包括支援センター（子育て支援センター「すくすく」）について、2022年4月の開設に向けて整備を進める。また、それぞれの子育て支援センターの連携を強化し、支援の充実を図る。						

## イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合 <目標達成>	18.8%	19.6%	18.4%	145.0%	A	健康医療対策課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	18.7%	18.6%	18.4%	18.1%	18.4%	—
	112.5%	125.0%	150.0%	187.5%	145.0%	—
	A	A	A	A	A	—
【進捗状況】 年度ごとで増減はあるが、認定率はほぼ横ばいで推移している。						
【今後の取組】 介護予防事業の更なる取組みを行う。						
② 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数  2019年度以降、目標値を7,500人に上方修正	3,696人	6,000人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	—
	68.0%	91.4%	122.8%	151.0%	160.4%	—
	A	A	A	—	—	—
3,696人	7,500人	7,392人	97.2%	A	健康医療対策課	
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	—	
—	—	—	91.5%	97.2%	—	
—	—	—	A	A	—	
【進捗状況】 職域、医療機関、住民の方などを対象とした講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は講座の回数及び受講者数は前年度までと比較して減少した。						
【今後の取組】 認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進する。						

③ 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	—
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	C	C	C	C	C	—
【進捗状況】 浜田圏域自立支援協議会や、法人等への説明及び整備の協力依頼を行っている。精神障がい者の部分は、浜田保健所と協働し整備に向け説明を重ねている。						
【今後の取組】 それぞれの法人・事業所内の人材、職員数なども考慮しながら、整備に向け説明を継続していく。						

## C 教育

### ア 読書活動の強化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合  <目標達成>	34.3%	40.0%	42.5%	143.9%	A	中央図書館
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	36.3%	40.5%	42.9%	46.1%	42.5%	—
	35.1%	108.8%	150.9%	207.0%	143.9%	—
	B	A	A	A	A	—
【進捗状況】 市民との協働による図書館運営の一環として、ボランティアの協力により定期的に開催する読み聞かせ等を通じて、読書普及を図った。また、読書週間にあわせ、イベントを企画し、親しみやすい、身近な図書館となるよう努めた。						
【今後の取組】 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を充分に行いながら、読書普及活動に努めていく。						
② 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	4.9冊	-5.0%	C	中央図書館
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5.4冊	5.3冊	5.8冊	5.6冊	4.9冊	—
	20.0%	15.0%	40.0%	30.0%	-5.0%	—
	B	B	B	B	C	—
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う、臨時休館や、感染症拡大予防対策として利用制限を設けた影響もあり、来館者自体が前年を大きく下回った。						
【今後の取組】 安心して図書館を利用できるよう、引き続き感染症予防対策を充分に行いながら、利用促進に努めていく。						

## D 産業振興

### ア 観光振興

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	225,043人	250,000人	209,006人	-64.3%	C	観光交流課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	—
	49.3%	-23.0%	-4.0%	-25.3%	-64.3%	—
	A	C	C	C	C	—
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言（4・5月）により休業する施設が多く宿泊者数が激減したが、「GoToトラベルキャンペーン」、「しまねプレミアム宿泊券・飲食券」、「プレミアム付はまだ飲食・宿泊応援チケット」などの支援事業の効果や、中国電力三隅発電所2号機建設関係の長期宿泊により、市内宿泊客数は前年比96%に踏みとどまった。						
【今後の取組】 新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視し、各種支援事業をPRするほか、合宿誘致等の各種政策に取組む。						

② 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	478人	-233.0%	D	観光交流課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	—
	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	—
	C	B	C	C	D	—
【進捗状況】 広島PRセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。また、市以外の補助制度との併用を可能するため要綱改正を行い利便性向上を図った。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合宿件数は前年比約20%で過去最低となった。						
【今後の取組】 新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視し、引き続き、広島市内の大学等への営業活動を行うとともに、リピーター確保のため、広島PRセンターと連携し合宿誘致を進める。						

## イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	136店	138店	143店	143店	142店	—
	60.0%	80.0%	130.0%	130.0%	120.0%	—
	A	A	—	—	—	—
2018年度以降、目標値を162店に上方修正						
	130店	162店	142店	37.5%	B	水産振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	136店	138店	143店	143店	142店	—
	—	—	40.6%	40.6%	37.5%	—
	—	—	B	C	B	—
【進捗状況】 新規の加盟業者は3件あったが、廃業等による退会が4件あり、昨年度と比較して1店減少となった。						
【今後の取組】 どんちっちアジを漁獲するまき網漁船の荷捌所が高度衛生管理型となったため、より安全・安心なブランド魚としてPRを行い、加盟店の増加による取扱量の拡大、消費の拡大に繋げていきたい。						
② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	107,182千円	-247.6%	C	農林振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	158,671千円	193,627千円	175,982千円	171,566千円	107,182千円	—
	-54.8%	76.1%	10.1%	-6.5%	-247.6%	—
	C	B	C	C	C	—
【進捗状況】 2020年度は、赤梨においては開花期の低温により大幅な着果不良となり、記録的な収量減となった。西条柿については、春先の乾燥状況に急激な降雨等が影響し、生理落下が大量発生し、大幅な収量減になったことにより産出額の増加が図れなかった。						
【今後の取組】 規模拡大の取り組みとして、ハウス整備を引き続き支援する。また、西条柿及び赤梨においては、ジョイント栽培に係る支援を実施し、産地維持を図る。						

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

16項目

### A 地域公共交通

#### ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.1人/便	-45.0%	C	地域活動支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1.6人/便	1.5人/便	1.5人/便	1.4人/便	1.1人/便	—
	-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-45.0%	—
	C	C	C	C	C	—
【進捗状況】 石見交通路線バスの廃止に伴い、2020年12月から新たに2路線の運行を開始した。従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響等によって利用者が大幅に減少し、目標値の達成には至らなかった。						
【今後の取組】 第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて利用者の少ない路線等の見直しを行い、2021年4月から新たな運行計画に基づく運行を開始していく。						

② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.4人/便	-22.2%	C	地域活動支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1.5人/便	1.6人/便	1.8人/便	1.7人/便	1.4人/便	—
	-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-22.2%	—
	C	B	A	C	C	—
【進捗状況】 石見交通路線バスの廃止に伴い、2020年12月から新たに2地区での運行を開始した。 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響等によって大幅に利用者が減少し、目標値の達成には至らなかった。						
【今後の取組】 第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて利用者の少ない地区等の見直しを行い、2021年4月から新たな運行計画に基づく運行を開始していく。						
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	地域活動支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	1団体	3団体	3団体	3団体	3団体	—
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—
<目標達成>	B	A	A	A	A	—
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。						
【今後の取組】 3地区における活動が継続されるよう引き続き支援する。 地域自主組織による新たな輸送モデルを検討する。						

## B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

### ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	8集落	8集落	1集落	0集落	0集落	—
	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%	100.0%	—
<目標達成>	D	D	A	A	A	—
【進捗状況】 2019年度の現地調査により、残る1地域の電波改善が確認された。 このことにより、市内不感地域は0集落となった。						
【今後の取組】 電波状況は改善されたとみえますが、屋内での電波状況が悪い地域はまだ多いため、地域の要望を聞き、更なる改善に取り組んでいく。						

## C 道路等の交通インフラの整備

### ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	54%	54.0%	B	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5%	13%	29%	50%	54%	—
	5.0%	13.0%	29.0%	50.0%	54.0%	—
<目標達成>	C	C	B	A	B	—
【進捗状況】 踏切北側の道路工事に着手した。完成期日が2023年に延期となった。						
【今後の取組】 JRが施設工事に早期に着手するよう促す。また、踏切北側の道路拡幅工事は2021年度完成を目指す。						
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	0%	0%	0%	0%	0%	—
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
<目標達成>	D	D	D	D	D	—
【進捗状況】 県道や県河川の改良に伴う事業のため、島根県に要望を行っているが、事業化には至っていない。						
【今後の取組】 島根県への要望を継続して行い、事業化を目指す。						

③ 市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。 <b>&lt;目標達成&gt;</b>	10%	40%	40%	100.0%	A	建設整備課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	13%	18%	26%	32%	40%	—
	10.0%	26.7%	53.3%	73.3%	100.0%	—
	B	B	B	B	A	—
【進捗状況】 総延長1,400mの内、340mの改良が完了した。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。						
④ 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。  2018年度以降、目標値を100%に上方修正 <b>&lt;目標達成&gt;</b>	0%	50%				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	54%	76%	86%	95%	100%	—
	108.0%	152.0%	172.0%	190.0%	200.0%	—
	A	A	—	—	—	—
0%	100%	100%	100.0%	A	建設整備課	
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
54%	76%	86%	95%	100%	—	
—	—	86.0%	95.0%	100.0%	—	
—	—	A	A	A	—	
【進捗状況】 全ての箇所での改良が完了した。						
【今後の取組】 目標達成のため、事業終了とする。						
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実に図る。  2018年度以降、目標値を100%に上方修正	30%	50%				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	64%	85%	74%	86%	72%	—
	170.0%	275.0%	220.0%	280.0%	211.0%	—
	A	A	—	—	—	—
30%	100%	72%	60.3%	B	建設整備課	
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
64%	85%	74%	86%	72%	—	
—	—	62.9%	80.0%	60.3%	—	
—	—	A	B	B	—	
【進捗状況】 全体事業費を見直したことから、進捗率が後退したような結果となったが、総延長1400mの内、940mの改良が完了した。						
【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。						

## D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

### A 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	61.9%	31.4%	C	教育総務課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	70.9%	71.8%	70.5%	68.0%	61.9%	—
	107.6%	115.3%	104.2%	83.1%	31.4%	—
	A	A	A	B	C	—
【進捗状況】 毎年、地元産品の活用を意識し献立を立て郷土料理や行事食等を提供している。予定していた地元産食材が気候等の理由や規格、量の問題で仕入れできない事例があり、利用率が下回った結果となった。						
【今後の取組】 今後も積極的に地元産食材を使用していく。また、2021年度から島根県に食育コーディネーターの配置があったため、密な連携を取り、利用率の増加に努めていく。浜田産アジまるごと一尾は食育の観点からも優れた食材であり継続して提供していく。						

## E 地域内外の住民との交流・移住促進

### ア 定住施策の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
<b>① U・Iターン者数の増加</b> <small>※各種支援制度を通じたU・Iターン者数（うちIターン者数）</small>  <b>2018年度以降、目標値を100人に上方修正</b>  <b>&lt;目標達成&gt;</b>	34人	50人				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	—
	143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	581.3%	—
	<b>A</b>	<b>B</b>	—	—	—	—
	34人	100人	<b>127人 (77人)</b>	140.9%	<b>A</b>	定住関係人口推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	—
	—	—	72.7%	84.8%	140.9%	—
	—	—	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>A</b>	—
<b>【進捗状況】</b> 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数と島根県人口動態調査による数値は、ともに増加した。【参考】石見部他市の2020年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）大田市170人、江津市114人、益田市162人、浜田市209人（2019年度浜田市169人）						
<b>【今後の取組】</b> 定住相談員を中心に、ふるさと島根定住財団や関係部署と連携しながら、移住相談者の名簿管理の徹底と丁寧なフォローを行い、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組みを進める。また、仕事体験事業や特定地域づくり事業等を活用し、都市部からの移住者の増加を図る。また、移住定住に関する情報を掲載した「はまだ暮らし」HPを構築し、わかりやすい情報提供に努める。						
<b>② U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加</b> <small>※意見交換会の年間開催回数</small>	1回	3回	<b>2回</b>	50.0%	<b>A</b>	定住関係人口推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	2回	2回	2回	3回	2回	—
	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	—
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	—
<b>【進捗状況】</b> U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を行った。シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止した。なお、シングルペアレント就労人材育成事業は、2020年度で終了した。						
<b>【今後の取組】</b> U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を、移住定住支援組織と連携して開催する。						
<b>③ U・Iターン相談件数の増加</b> <small>※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数</small>  <b>&lt;目標達成&gt;</b>	255人	300人	<b>327人</b>	160.0%	<b>A</b>	定住関係人口推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	286人	251人	202人	326人	327人	—
	68.9%	-8.9%	-117.8%	157.8%	160.0%	—
	<b>A</b>	<b>C</b>	<b>C</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	—
<b>【進捗状況】</b> 堅調な景気を背景に、地方から東京圏への転出超過が続き、人口の一極集中は拡大している。近年の移住志向の流れは盛時を迎えているものの、新たな施策の取組みや定住相談員の丁寧なフォロー等により、相談件数の増加に繋がった。						
<b>【今後の取組】</b> 引き続き、定住相談員を配置し、U・Iターンの相談窓口業務を充実させる。また、移住相談者の名簿管理の徹底と丁寧なフォローを行い、Uターン者の地元就職やIターン者の移住に結びつく取組みを進める。仕事体験事業などを行い、都市部からの移住者の増加を図る。						

## イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 空き家バンク登録件数の増加  ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件				
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	66件	71件	81件	74件	70件	—
	757.1%	828.6%	971.4%	871.4%	814.3%	—
	A	A	—	—	—	—
2018年度以降、目標値を71件に上方修正  <目標達成>	13件	71件	74件	105.2%	A	定住関係人口推進課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	66件	71件	81件	70件	74件	—
	—	—	119.2%	98.3%	105.2%	—
	—	—	A	A	A	—
【進捗状況】 専用HP、SNS及び市報や、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなど、制度周知に努めた。また、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努め、登録件数は増加した。						
【今後の取組】 引き続き、制度の周知に努めるとともに、関係機関と連携を図りながらU・Iターン者等の住環境の整備及び空き家の利活用を促進する。なお、2019年4月に県が土砂災害特別警戒区域を指定した影響は、今のところ見られない。						

## ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 自主防災組織の組織率の増加  ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	68.2%	56.4%	C	防災安全課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	65.8%	66.1%	66.1%	66.8%	68.2%	—
	50.1%	50.9%	50.9%	52.7%	56.4%	—
	A	C	C	C	C	—
【進捗状況】 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の合意形成が進まず予定どおりの進捗とならなかった。						
【今後の取組】 組織化検討中の地域を中心に設立支援を行い、組織率向上を目指す。						
② 防災出前講座の開催回数の増加  ※講座の年間開催回数	6回	40回	1回	-14.7%	D	防災安全課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	5回	9回	4回	10回	1回	—
	-2.9%	8.8%	-5.9%	11.8%	-14.7%	—
	D	B	C	C	D	—
【進捗状況】 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座依頼が大きく減少し、予定どおりの進捗とならなかった。						
【今後の取組】 市独自の講座に加えて、警察署と連携して取組む。						

## 3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

3項目

### A 宣言中心市等における人材の育成

#### ア 人材の育成

成果指標	策定時 現状値	目標値	2020年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
① 市民交流促進事業実施件数の増加  ※大学等と市民団体が実施する交流事業の6年間の合計件数	6件	50件	51件	102.0%	A	地域活動支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	12件	10件	16件	13件	1件	—
	24.0%	44.0%	76.0%	100.0%	102.0%	—
	A	A	A	A	A	—
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響によって市民交流事業が自粛された結果、補助金の交付件数は1件のみだった。						
【今後の取組】 新型コロナウイルス感染症の影響によって自粛傾向が続くものと推測されるが、浜田市ホームページ等での周知に努める。						

② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	2回	0.0%	B	地域活動支援課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	3回	3回	3回	2回	2回	—
	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	—
	B	B	B	B	B	—
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を一部中止したことにより実施回数は目標が達成できなかったが、当初予定していた実施方法を変更し、オンラインでの開催やオンデマンドによる研修会を実施した。						
【今後の取組】 新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いつつ実施するとともに、ウィズコロナ時代に対応した実施方法での研修会を実施する。						
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	25.2%	0.0%	B	人権同和教育啓発センター
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	27.1%	29.2%	22.9%	24.3%	25.2%	—
	12.8%	27.0%	-15.5%	-6.1%	0.0%	—
	B	B	C	C	B	—
【進捗状況】 委員の就任依頼に際しては、可能な限り女性委員の就任に配慮していただくよう依頼しているほか、担当部署を通じて積極的に働きかけを行っているが、審議会等によっては、女性委員が不在又は、少数なものもある。						
【今後の取組】 各審議会において、女性委員が就任されるようその必要性の周知と、委員就任時に各部署から積極的に働きかけてもらうよう、庁内の連絡会において依頼をしている。今後、各部署トップダウンで徹底してもらうよう、啓発及び働きかけをしていく。						